

年度2009学期 後期	曜日・校時	水・3、木・3	必修選択	必修	単位数	1	単位
授業科目 (英語名)	中国語Ⅱ (Chinese Ⅱ)						
対象年次	1	年次	講義形態	演習			
対象学生(クラス等)	水・3:D16・17、木・3:K25			科目分類	外国語科目(中国語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高季文 /非常勤講師室 /木曜日 14:30-15:50							
担当教員(オムニバス科目等)							
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業ねらい： 最初に徹底的正確な発音のマスターと、基本構造の理解を目指す。それを元にして、発音、基礎的文法、慣用表見を修得する。 授業方法： 発音の練習を繰り返すとともに、多くの慣用句を身につけ、さらに日常的な表見を学び、実際に会話が出来るようにする。 到達目標：日常会話が出来ること。							
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 発音、特に声調をマスターする。そして中国語のリズムに慣れていく。 1回目 復習 2回目 第5課 天气 形容詞述語 反復疑問文 3回目 選択疑問文 省略疑問文 4回目 テスト 5回目 第6課 几月几号 6回目 日付 動詞述語文 名詞述語文 7回目 第7課 我的一天 8回目 介詞 9回目 復習 第8課 购物 10回目 完了の”了”介詞 “给” 11回目 第9課 学汉语 12回目 数量補語、比較の表現、可能の助動詞“会” “能” 13回目 第10課 旅游 助動詞 “想”“要”“打算” 14回目 過去の経験を表す「過」 15回目 まとめと定期考査							
キーワード	日常会話						
教科書・教材・参考書	『<新版>実用中国語』(劉愛莉等、白帝社)						
成績評価の方法・基準等	1, 出席点・小テスト 60% 2, 定期試験 40%						
受講要件(履修条件)							
本科目の位置づけ/学習・教育目標	関係する専門科目, 資格等: 中国語検定試験準4級合格						
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況						